

第3次角田にここ健康プラン（第3次角田市健康増進計画・第3次角田市食育推進計画・第2次角田市自死対策計画）（案）
 についての意見及び市の考え方

No	意見内容	意見に対する市の考え方
1	<p>大変申し訳ありませんが、第2次角田市自死対策計画(案)のみに対して意見を述べさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>パブリックコメントとは、計画(案)に対して意見・質問を述べることは分かっておりますが、今回の第2次角田市自死対策計画に対しては、自死と言う言葉初めて知ったことと、自死対策の専門家でもないのに、知ったかぶりして意見を言える立場ない者で、この自死言う事に対して私が思うことを述べてみました。</p> <p>自殺言う言葉を使わない理由は、私なりに調べて分かりましたが、死に追い込んでしまう、誰にでも分からないのが、自死なのかと思います。</p>	<p>計画に使用されている「自死」という言葉について、当事者の遺族の方への配慮として、本計画より使用しております。自死は、その多くが追い込まれた末の死であり、防ぐことができる社会的な問題であるという認識を持ってもらえるよう周知啓発を進めながら自死予防対策に取り組んで参ります。</p>
2	<p>自死を支えるため、色々な方法をもって取り組んでいることに大いに結構な事と思います。ゲートキーパーの意味を知っている方が4%となっておりますが、私自身も今回の計画書をみて初めて知った一人です。</p> <p>ゲートキーパーの認知度を最終目標値33%に掲げておりますが、必ず達成することを期待したいと思います。ただ、ゲートキーパー養成研修を受講した方が、900人もいるのに認知度4%は以外な気がします。</p> <p>ゲートキーパーは、自死を支える一つの手段であれば、養成研修を受講していただき、認知度を広めること賛成です。</p>	<p>ゲートキーパー養成研修の受講者について、こちらの人数は延べ人数であり、複数回受講している方もいるため、実人数は940名より少ない状況です。今後も受講者数の増加を図りつつ、ゲートキーパーの認知度向上に向けて積極的な情報発信を行って参ります。</p>
3	<p>角田市の自死死亡率は年間6人位になっているようですが、率直な意見として多いと思いました。</p> <p>角田市第6次総合計画のチャッチフレーズ(市民力咲き誇る。角田市)の次に「安心して、いきいきと、誇らしく暮らせるまち」と謳っている事に反することになり、SOSを出している事を見逃すことなく、関係機関等と連携を密にして取り組むことが不可欠と思います。</p> <p>施策として会議もその一つですが、速やかに行動(アクション)を起こすことが重要であると思います。</p> <p>小中学校のいじめは、学校と教育委員会とで対応しているのかと思っていましたが、市の子育て支援課でも対応していること存じておりませんでした。考えて見れば当然、心のケアのプロなので、一致団結して取り組むこと頼もしく感じられて大いに結構な事だと思います。</p> <p>とにかく、自死予防対策は、家族での対応にも限度があると思いますので、行政と市民が一体となり取り組むこと大いに期待するものです。</p> <p>最後に本計画の実行性を大いに期待します。みんなで自死を防ぐ事が市民力だと思います。</p>	<p>ご指摘いただいたように、角田市の自殺死亡率については、令和3年・4年では、全国・宮城県を大きく上回っており、年齢別の自殺者数では、40歳代、50歳代、70歳代で増加しています。</p> <p>この現状を踏まえ、本計画の策定においては当事者のご家族だけが負担を抱えることのないよう、子育て支援課を含めた市の福祉部門や児童相談所、小中学校、医療機関等の専門機関との連携を図り、児童・生徒の自死予防対策をはじめとして、働き世代、生活困窮者、高齢者を対象に重点的な自死予防対策を進めて参ります。</p>